

令和4年度 決算について

1 決算概要

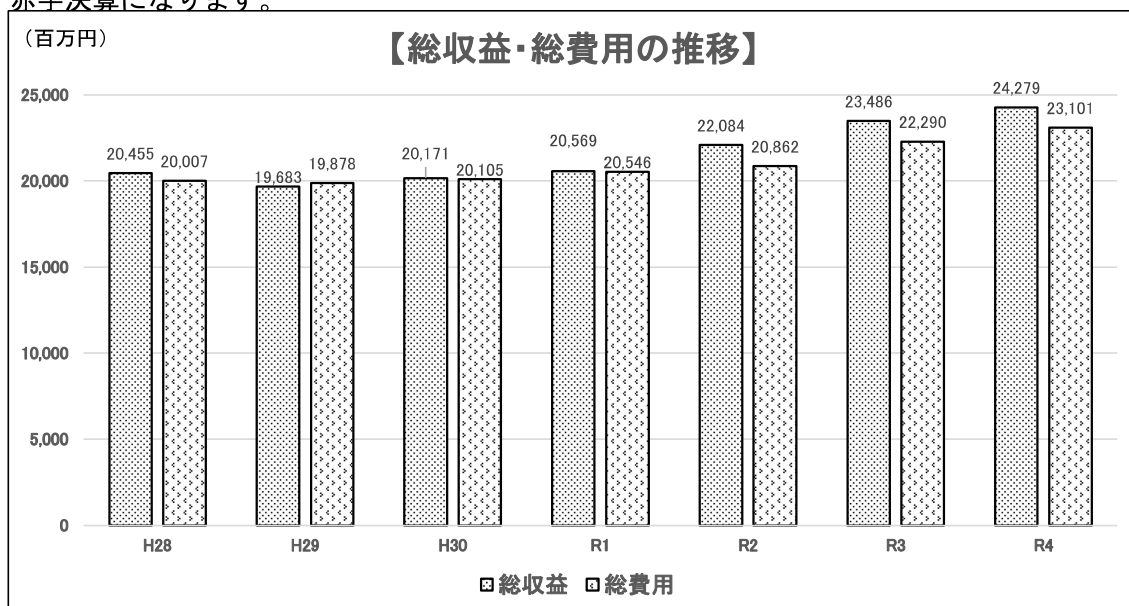
令和4年度は、前年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症病床を確保しながらも、一般病床を効率的に運用して患者の受入れを行ったほか、診療報酬改定に伴い、新たに急性期充実体制加算を取得したことや外来化学療法等の診療単価の増などにより、入院・外来業務の診療単価は過去最高を更新することができました。

収益面については、入院・外来業務ともに、患者数の増加及び診療単価の上昇等により、入院収益は139億31百万円、前年度比7億49百万円の増、外来収益は、59億26百万円、前年度比4億73百万円の増となりました。

また、補助金収益は、新型コロナウイルス感染症対策事業15億57百万円、原油価格・物価高騰対策事業2億70百万円となりました。

費用面については、給与費は、給与改定及び看護職員の処遇改善等の影響により、97億37百万円、前年度比3億77百万円の増となったほか、材料費は薬品及び診療材料の使用額が増加したことから、69億84百万円、前年度比4億99百万円の増となりました。また、原油価格高騰の影響を受けて、光熱水費は前年度比2億14百万円の増となりました。

これらの結果、令和4年度の総収益は242億79百万円、総費用は231億1百万円、当期純利益11億78百万円の黒字決算となりましたが、前述の新型コロナウイルス感染症対策事業及び原油価格・物価高騰対策に係る補助金収益を除いた場合は、約6億50百万円の赤字決算になります。

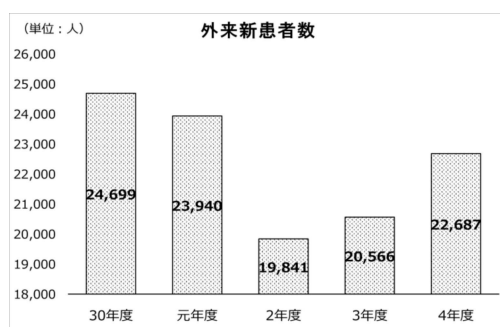
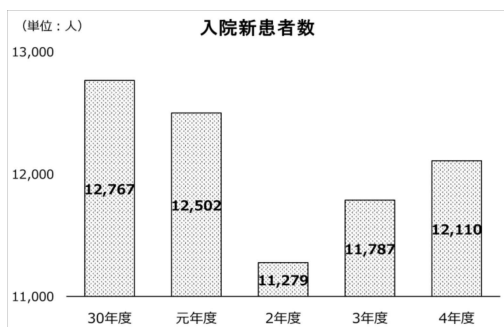
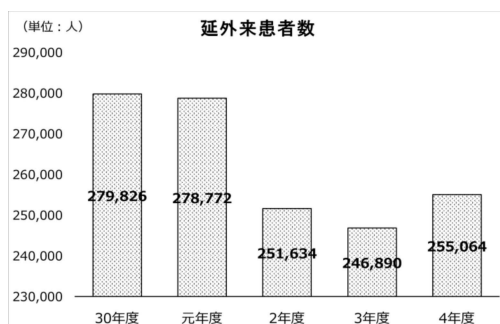
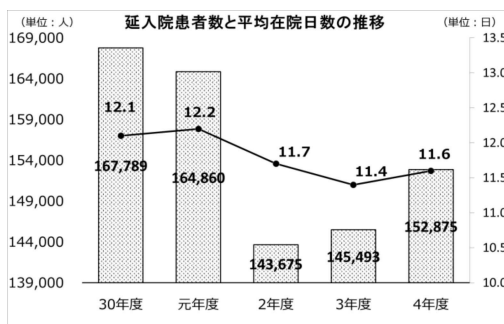
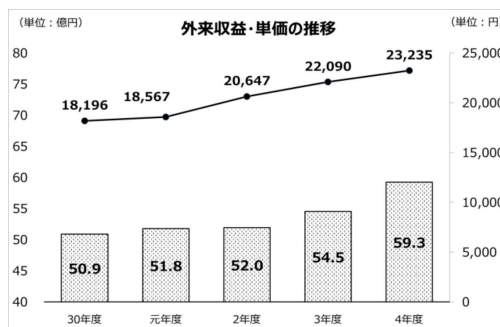
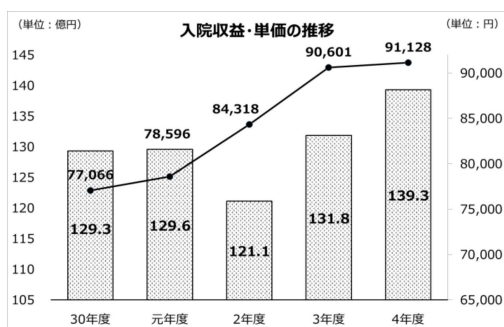


2 主な診療実績

入院関連	令和4年度実績	令和3年度実績	増減
診療単価	91,128円	90,601円	527円
延患者数	152,875人	145,493人	7,382人
1日平均患者数	419人	399人	20人
新患者数	12,110人	11,787人	323人
病床稼働率	82.8%	78.8%	4.0P
平均在院日数	11.6日	11.4日	0.2日

外来関連	令和4年度実績	令和3年度実績	増減
診療単価	23,235円	22,090円	1,145円
延患者数	255,064人	246,890人	8,174人
1日平均患者数	1,050人	1,020人	30人
新患者数	22,687人	20,566人	2,121人

稼働状況等	令和4年度実績	令和3年度実績	増減
手術件数	5,850件	5,281件	569件
紹介率	90.6%	86.6%	4.0P
逆紹介率	155.5%	140.0%	15.5P



3 財務諸表

(1) 損益計算書

一会計期間（4月1日から翌年3月31日までの1年間）に属するすべての収益と費用を記載した法人の経営成績を明らかにしたものです。

(単位:百万円)

項目	令和4年度 ①	令和3年度 ②	増減額 ①-②	主な増減理由
総収益	24,279	23,486	793	
営業収益	24,107	23,329	779	
医業収益	20,202	18,962	1,240	
入院収益	13,931	13,182	749	延患者数: +7,382人(4年度: 152,875人、3年度: 145,493人) 単価: +527円(4年度: 91,128円、3年度: 90,601円)
外来収益	5,926	5,454	473	延患者数: +8,174人(4年度: 255,064人、3年度: 246,890人) 単価: +1,145円(4年度: 23,235円、3年度: 22,090円)
その他医業収益	380	376	4	※検診料、予防接種、人間ドッグ
保険等査定減	△ 36	△ 50	14	
運営費負担金収益	1,895	1,792	103	中期計画どおり
補助金等収益	1,915	2,494	△ 578	新型コロナウイルス感染症関連補助金 1,557百万円(R3: 2,423百万円) 原油価格・物価高騰対策補助金 270百万円
寄附金収益	10	12	△ 2	
資産見返戻入	85	69	16	※負担金等財源取得資産の減価償却費見合い分収益計上
営業外収益	171	157	14	
運営費負担金収益	55	58	△ 3	中期計画どおり
財務収益	0	1	△ 1	
その他営業外収益	116	99	18	※駐車場料金等
臨時利益	0	0	0	
その他臨時利益	0	0	0	
総費用	23,101	22,290	810	
営業費用	21,877	20,946	931	
医業費用	21,440	20,524	915	
給与費	9,737	9,359	377	給与改定、看護職員の処遇改善等による給料・手当等の増加
材料費	6,984	6,484	499	診療材料費+63百万円(4年度: 3,245百万円、3年度: 3,182百万円) 薬品費+436百万円(4年度: 3,692百万円、3年度: 3,255百万円)
減価償却費	1,373	1,344	28	償却対象件数の増加
経費	3,275	3,287	△ 12	報償費△32百万、消耗品費+10百万、光熱水費+214百万円、修繕費△28百万円、賃借料△77百万円、委託料△73百万円 他
研究研修費	71	49	22	※学会、研修旅費
一般管理費	438	421	16	
給与費	409	395	14	
減価償却費	3	3	0	
経費	26	24	2	
営業外費用	1,223	1,344	△ 121	
財務費用	138	143	△ 5	※支払利息(移行前地方債・長期借入金)、リース利息
消費税	1,079	1,200	△ 121	R3: リース資産分消費税初年度一括償却
雑損失	7	1	6	
臨時損失	0	1	△ 1	
固定資産除却損	0	1	△ 1	
その他臨時損失	0	0	0	
当期純利益	1,178	1,196	△ 18	

(注)表中の数値は各項目ごと百万円未満を四捨五入しているため、合計及び増減額が一致しない場合があります。

(2) 貸借対照表

決算日（3月31日時点）におけるすべての資産（資金の運用形態）、負債及び純資産（資金の調達方法）を記載した法人の財政状況を明らかにしたものです。

（単位：百万円）

項目	令和4年度末 ①	令和3年度末 ②	増減額 ①-②	主な増減理由
資産の部	23,738	22,895	843	
固定資産	11,604	12,020	△ 416	
土地	3,001	3,001	0	
建物	4,886	5,046	△ 160	東館・西館等減価償却による減少
構築物	7	6	2	
器械備品	1,894	1,829	65	償却資産取得による増加
車両	15	19	△ 4	減価償却による増加
リース資産	1,408	1,745	△ 337	電子カルテ・ネットワーク機器減価償却による減少
建設仮勘定	65	15	50	手術室増設業務施工による増加
無形固定資産	29	25	4	ソフトウェア取得による増加
長期貸付金	297	333	△ 35	看護師修学資金の新規貸付減少
破産更生債権等	66	67	△ 1	
貸倒引当金（破産更生債権等）	△ 66	△ 67	1	
その他投資	0	1	△ 1	
流動資産	12,134	10,875	1,259	
現金及び預金	7,430	6,825	605	※キャッシュ・フロー計算書参照
未収金	4,327	3,737	591	補助金分の増加
貸倒引当金	△ 26	△ 32	6	
医薬品	235	193	42	在庫確保による増加
診療材料	149	137	13	
前払金	15	14	1	
その他流動資産	3	2	1	※火災保険前払分、預金利息未収分
負債の部	14,880	15,216	△ 335	
固定負債	11,514	12,044	△ 529	
資産見返負債	389	361	28	負担金等財源取得資産購入分の増加
長期借入金	600	600	0	
移行前地方債償還債務	4,456	4,737	△ 281	既往債の償還が進んだことによる減少
引当金	4,856	4,740	116	退職給付引当金の増加
リース債務	1,213	1,580	△ 368	電子カルテ・ネットワーク機器償還による減少
その他固定負債	0	25	△ 25	預り保証金（工事関連）の減少
流動負債	3,366	3,172	194	
一年以内返済予定長期借入金	300	300	0	
一年以内返済予定移行前地方債償還債務	281	275	6	
未払金	1,698	1,538	160	材料及び機械備品支払分の増加
未払費用	91	90	2	
引当金	493	482	11	
一年以内支払予定リース債務	368	362	6	
その他流動負債	134	125	9	※預り諸税、預り納付金
純資産の部	8,857	7,679	1,178	
資本金	4,919	4,919	0	※静岡市出資金
資本剰余金	0	0	0	
利益剰余金	3,938	2,760	1,178	
前期中期目標期間繰越積立金	320	320	0	第1期中期目標期間からの繰越
目的積立金	2,440	1,245	1,196	R3当期純利益振替による増加
当期末処分利益	1,178	1,196	△ 18	
うち当期純利益	1,178	1,196	△ 18	

（注）表中の数値は各項目ごと百万円未満を四捨五入しているため、合計及び増減額が一致しない場合があります。

(3) キャッシュ・フロー計算書

一会計期間（4月1日から翌年3月31日までの1年間）における業務活動、投資活動及び財務活動の3つの区分に分けて資金の流れを明らかにしたもので、現金と普通預金の動きを示しています。

(単位:百万円)

項目	令和4年度 ①	令和3年度 ②	増減額 ①-②	主な増減理由
業務活動によるキャッシュ・フロー	2,236	3,214	△ 978	
材料の購入による支出	△ 7,650	△ 7,198	△ 452	薬品・診療材料支払額の増加による
人件費支出	△ 10,084	△ 9,757	△ 327	賞与等支払額の増加による
その他の業務活動による支出	△ 3,592	△ 3,407	△ 185	経費等支払額の増加による
医業収入	20,007	18,867	1,140	入院・外来収益の増加による
運営費負担金収入	1,950	1,850	100	中期計画どおり
補助金等収入	1,621	2,881	△ 1,259	新型コロナウイルス感染症関連補助金の減少による
寄附金収入	10	12	△ 2	
その他の業務活動による収入	112	105	7	
利息及び配当金の受取額	0	1	△ 1	
利息の支払額	△ 139	△ 140	0	
投資活動によるキャッシュ・フロー	1,015	△ 1,000	2,014	
定期預金の戻入による収入	2,000	1,500	500	R4:満期解約分の増加による
定期預金の預入による支出	0	△ 2,000	2,000	R4:運用未実施による
有形固定資産の取得による支出	△ 978	△ 706	△ 272	固定資産購入額の増加による
無形固定資産の取得による支出	△ 5	△ 30	25	ソフトウェアの減少による
貸付金の回収による収入	35	37	△ 3	看護師修学資金返済分
貸付けによる支出	△ 68	△ 67	△ 1	看護師修学資金貸付分
預かり保証金受入れによる収入	0	25	△ 25	非常用発電機更新工事着手に伴う保証金受入れ
預かり保証金払出しによる支出	△ 25	0	△ 25	非常用発電機更新工事完了に伴う保証金払出し
補助金等収入	56	241	△ 185	新型コロナウイルス感染症関連補助金の減少による
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 645	△ 523	△ 122	
長期借入れによる収入	300	300	0	
長期借入金の返済による支出	△ 300	△ 300	0	
移行前地方債償還債務の償還による支出	△ 275	△ 269	△ 6	
リース債務の返済による支出	△ 370	△ 254	△ 116	電子カルテ及びネットワーク分支出額の増加による
資金増加額	2,605	1,691	914	
資金期首残高	4,825	3,133	1,691	
資金期末残高	7,430	4,825	2,605	

(注1) 期首及び期末時点で運用中の定期預金は、資金に含んでおりません。

(注2) 表中の数値は各項目ごと百万円未満を四捨五入しているため、合計及び増減額が一致しない場合があります。

定期預金含む資金残高

(単位:百万円)

区分	令和4年度 ①	令和3年度 ②	増減額 ①-②
資金期末残高	7,430	4,825	2,605
定期預金	0	2,000	△ 2,000
合計額	7,430	6,825	605

(注) 合計額は貸借対照表「資産の部」の「現金及び預金」の金額と一致します。

4 長期借入金及び移行前地方債償還債務の状況

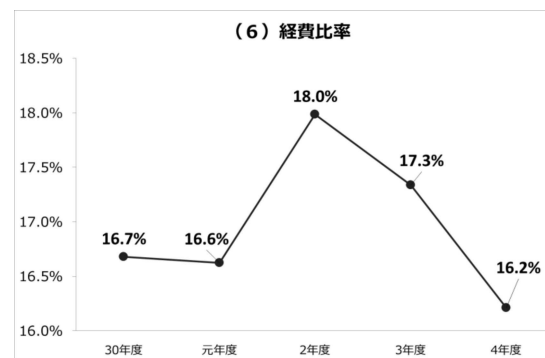
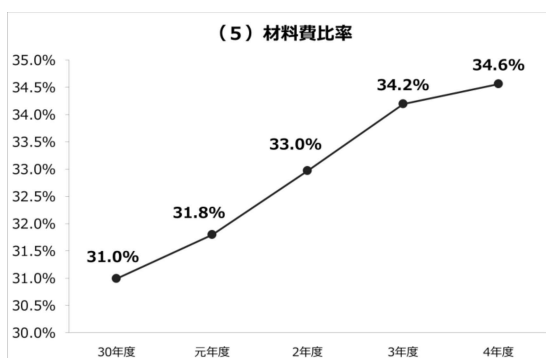
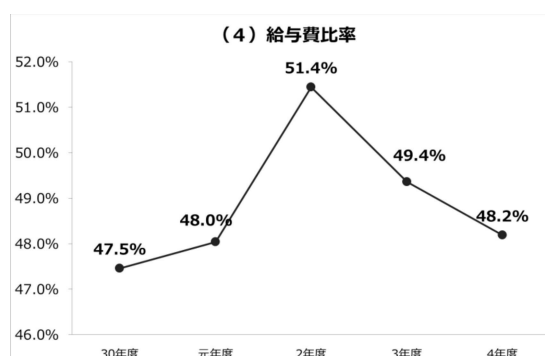
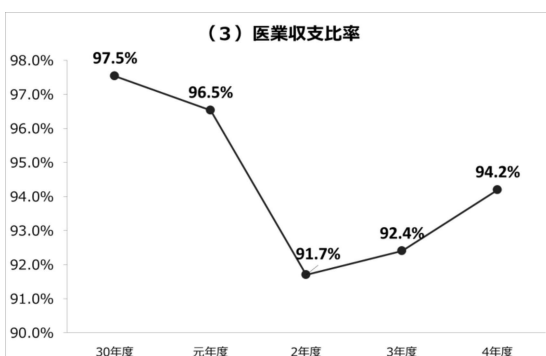
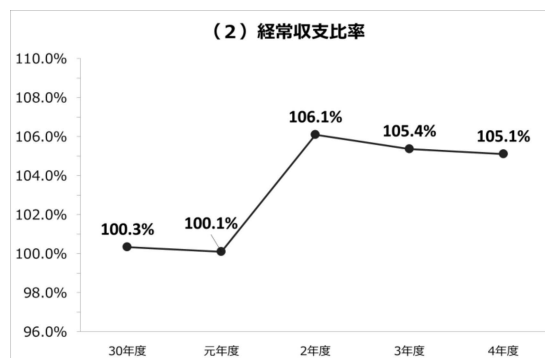
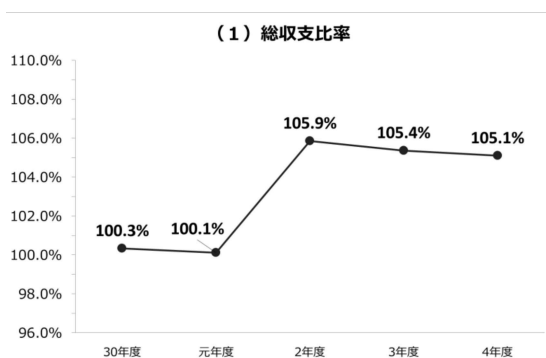
長期借入金（市からの借入金）及び移行前地方債償還債務（地方独立行政法人移行前に借り入れた地方債の償還債務）の状況は次のとおりです。

(単位:千円)

区分	期首残高 (R4.4.1)	増減額			期末残高 (R5.3.31)	備考
		新規借入額 (A)	償還額 (B)	計 (A)-(B)		
長期借入金	900,000	300,000	300,000	0	900,000	医療機器整備
移行前地方債償還債務	5,012,126	0	275,095	△ 275,095	4,737,031	建設改良資金
計	5,912,126	300,000	575,095	△ 275,095	5,637,031	

5 経営指標

区分	令和4年度実績	令和3年度実績	増減
(1) 総収支比率	105.1%	105.4%	△ 0.3P
(2) 経常収支比率	105.1%	105.4%	△ 0.3P
(3) 医業収支比率	94.2%	92.4%	1.8P
(4) 給与費比率	48.2%	49.4%	△ 1.2P
(5) 材料費比率	34.6%	34.2%	0.4P
(6) 経費比率	16.2%	17.3%	△ 1.1P



【経営指標の計算式】

- (1) 総収支比率……総収益/総費用
- (2) 経常収支比率……(営業収益+営業外収益)/(営業費用+営業外費用)
- (3) 医業収支比率……医業収益/医業費用
- (4) 給与費比率……給与費(医業費用)/医業収益
- (5) 材料費比率……材料費(医業費用)/医業収益
- (6) 経費比率……経費(医業費用)/医業収益

6 新型コロナウイルス感染症関連補助金

1,666,939千円

○ 医療器械を購入したもの（「資産見返負債」及び「資産見返戻入」に計上）

(単位:円)

交付元	補助事業名	補助対象 (※主たる設備等を記載)	当期交付額
県	新型コロナウイルス感染症対策事業(感染症検査機関等設備整備事業)補助金	等温遺伝子増幅装置	1,055,000
	新型コロナウイルス感染症患者等入院医療機関設備整備事業補助金	人工呼吸器、体外式膜型人工心肺	26,719,000
	新型コロナウイルス感染症重点医療機関等設備整備事業補助金	CT撮影装置、超音波画像診断装置、血液浄化装置、気管支鏡、分娩監視装置	81,878,000
計			109,652,000

○ 病院運営に係るもの（「営業収益」に計上）

(単位:円)

交付元	補助事業名	補助対象	当期交付額
県	看護職員等処遇改善事業費補助金	地域でコロナ医療など一定の役割を担う医療機関に勤務する看護職員等を対象に賃金改善を行うために必要な費用	20,485,000
	新型コロナウイルス感染症重点医療機関体制整備事業補助金	病床確保に要する費用	1,520,743,000
	新型コロナウイルス感染症患者病床回転率向上促進事業補助金	新型コロナウイルス感染症に係る病床回転率向上促進に対する費用	7,200,000
市	私立こども園・保育所等新型コロナウイルス感染症対策事業補助金	院内保育所の感染症拡大防止のために購入したマスクなどの購入費用	399,000
	新型コロナウイルス当番病院協力金	コロナ患者を受け入れる静岡市内のコロナ当番病院に対する協力金	8,460,000
計			1,557,287,000

7 原油価格・物価高騰対策補助金

269,857千円

○ 病院運営に係るもの（「営業収益」に計上）

(単位:円)

交付元	補助事業名	補助対象	当期交付額
県	医療機関等物価高騰対策支援金	物価高騰の影響を受けた医療機関等への支援金	20,240,000
	児童福祉施設等物価高騰対策支援金	物価高騰に直面する静岡県内の児童福祉施設に対する支援金	92,000
市	静岡市原油価格・物価高騰等対策補助金	原油価格・物価高騰等に伴う光熱費の増加額相当分に対する補助金	249,525,334
計			269,857,334